

「予防業務を通して被害の軽減に努める」

消防本部予防課 消防士長 清親 勇亮（平成20年入職）

私が消防を目指したのは、人の役に立てる仕事・人のためになる仕事に就きたいと考えたからです。そこで真っ先に浮かんだのが消防という仕事でした。

阪神淡路大震災等で懸命に活動している姿を見て、いつか自分も苦しんでいる人の助けになりたいと思い志望しました。実際に現場活動してみると、体力的にも精神的にも辛いときはありますが、経験を重ねていくにつれ成長していく自分を感じとれるのでとてもやりがいのある仕事だと思います。

現在は予防課に配属となり、消防用設備等の設置指導や防火対象物の査察などを中心に仕事をしています。消防といえば消火・救助・救急といった現場に直結した仕事をイメージされる方が多いと思いますが、私が携わっている予防業務は、現場に出て活動することはありません。しかし火災等を未然に防ぐこと



や、発生した火災等の被害を最小限に抑えるために、消防用設備等を適正に設置させ、防火対象物の管理を適正に行わせることにより、逃げ遅れ等から「人命を守る」という大切な任務が予防業務にあります。消防の目的は、火災を予防し、市民の生命・身体・財産を火災から守ることです。この予防業務を通して、火災による被害で悲しむ人が一人でも少なくなるよう、これからも業務に精励したいと思っています。



皆さんが採用試験に無事合格され、同じ部署に配属されることがありましたら、共に頑張りましょう。